

【地域活性化・地域住民生活等支援交付金(地方創生先行型・基礎交付分)】

農業を核とした産業創出プロジェクト事業

1 新技術野菜栽培実験等ハウス及び水耕（養液）栽培システムの設置

1) 施設の概要

A棟 水耕野菜栽培実験ハウス（他地域農家実践型栽培）

① 目的

通年での葉物野菜を中心とした、新技術（水耕）の普及及び新規就農者等の冬期就労支援、就農実践研修。

② 栽培予定品目

都市部（札幌、旭川）ホテル、飲食店での需要の高い葉物野菜（クレソン、チャイブ、ホワイトセロリ、ミニチンゲン菜、からし菜等）を中心に試験栽培。



ハウス外観



ハウス内（ミニチンゲン菜）



試験販売（市内Aコープルピナス）

B棟 地域資源循環型エネルギー活用栽培実験ハウス（新技術栽培及びエネルギー燃焼研究）

① 目的

学術研究機関との共同研究による、新技術栽培及び新規作物のハウス実証試験（近畿大学と研究委託）

② 栽培予定品目

同大学からの栽培技術支援を受け、ポリエステル培地と点滴（養液）により、道北地域では栽培されていない野菜、花き、果物等を栽培予定。（ミニ大根、ミニ人参等のミニ根菜類、アンスリウム等の鉢花。）

※将来的には柑橘類、いちご等も研究予定）

B棟（後方）と
資源循環型ボイラーハウス（手前）

ハウス内



鉢花（アンスリウム）の栽培試験

- 2) 事業費 18,431 千円（使用料及び賃借料）
 3) 施工完了 平成 27 年 9 月 30 日
 4) 引き渡し日 平成 27 年 9 月 30 日

2 資源循環型ボイラー等の設置

1) 施設の概要

- ・資源循環型バイオマス燃焼ボイラーの設置（1台）
（木質等バイオマスガス化温水ボイラー／国産）
- ・貯湯タンク及び温水循環、給水配管



資源循環型バイオマス燃焼ボイラー（右） ボイラー内1次燃焼室（ガス化）と貯湯タンク（左）

熱供給による室内温風

- 2) 事業費 14,194千円（電気工事、設計委託料含む）
- 3) 施工完了 平成27年10月9日
- 4) 引き渡し日 平成27年10月9日

3 地域資源循環型エネルギー燃焼試験及び新技術野菜栽培研究

1) 研究内容

もみ殻や木くず等を活用し、近畿大学が有する製造技術を用いたバイオコークス（固形燃料）等をエネルギーとして、積雪寒冷地域におけるハウスでの燃焼試験及び燃焼特性の分析、調査を通じ、将来的に当地域で資源循環型エネルギーの実用化に向け調査、研究を実施。また、同大学の栽培技術支援を受け、通年栽培可能な新たな高付加価値作物の栽培研究も併せて実施。



バイオコークス（固形燃料）

2) 研究方法

学校法人近畿大学に対し、委託研究を依頼。

- 3) 事業費 5,094千円（委託料）

4 都市部中心街と農村部との結びつきによる集落支援の取組

1) 目的

農村部における買い物場所や移動手段など生活基盤の低下と、中心商店街における店舗数の減に伴う集客力の確保などの課題に対し、農産物の集荷支援と商店街における販売支援により中心街の賑わい創出を図りながら、一方で、商店街が農村集落にて買い物支援を行う仕組みを構築することで、新たな集落支援モデルの可能性について検証する。

2) 事業概要

- ① 軽トラタ市（朝採れ野菜の庭先集荷、販売支援）

期間：平成27年7月28日～9月24日（全18回）

集客数：約562人

- ② 農村集落における買い物支援（買い物代行サービス、移動商店街の開催）

ア．買い物代行サービス 会員申込み数5件 配達3回

イ．移動商店街

日時：平成27年10月17日（土）

場所：幌糠コミュニティセンター（集客数：約80人）

- 3) 事業費 630千円（委託料、会場使用料）



移動商店街（幌糠）